

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2684 号

Low serum zinc concentration is associated with low serum testosterone but not erectile function

血中亜鉛濃度の低下による性機能症状および内分泌学的変化の検討

三好 美穂 (みよし みほ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

昨今の高齢化社会において、精神症状、身体症状、性機能症状等様々な症状とテストステロン低下を特徴とする加齢性性腺機能低下症 (LOH) はますます注目を集めている。したがって、高齢男性におけるテストステロンの血中濃度や性機能の規定因子を検討することは非常に意義がある。

本研究では何らかの性機能異常を訴えて、来院した患者のデータを用いて、血中亜鉛濃度とテストステロンの血中濃度および性機能との関連を調べた。その結果、血中亜鉛濃度が血中テストステロン値と相関することを見出した。このことにより亜鉛補充による血中テストステロンの上昇の可能性が示唆される。一方で、血中亜鉛濃度の低下は性機能の低下と直接的に関連しないことが分かった。これまでは血液透析患者において亜鉛補充により性機能が改善した報告がある一方、勃起不全 (ED) 治療において亜鉛摂取による効果を認めなかった報告もある。ED の病因は多因子であることが知られているが、ED の重症度に最も寄与する因子は未だ明確となっていない。今回の研究結果は今後の亜鉛とテストステロンの血中濃度の相関関係の解明や、LOH 症候群を始めとする ED などの性機能症状改善のための治療を考慮するうえで重要な結果を示しているものと考えられる。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。